

京都府農林水産ビジョンの概要

(令和元年12月策定、令和5年3月改定 計画期間：令和元年度～10年)

資料2

- 「京都府総合計画」における農林水産分野の目指すべき姿や施策の方向性について体系化及び具体化し、農林水産施策における今後の取組の方向性を示す『京都府農林水産ビジョン』を令和元年12月に策定し、以下の実現したい3つの姿と5つの重点戦略のもと施策を展開
- 令和5年3月に、新型コロナウイルス感染症の拡大や、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した国際不安など、策定時からの社会情勢の変化及び府政の基本方針である京都府総合計画の改定内容も踏まえて、新たに取り組むべき施策の方向性の追加、見直しを実施
- 特に、従来からの農林水産業・農山漁村分野の視点に加え、昨今の食に関する消費志向の変化や食に関する最先端技術の活用を見据え、新たに食品産業分野の視点を追加

2040年に実現したい3つの姿

○ビジネス（農林水産業）
魅力的な「産業」として夢あふれる
農林水産業のイノベーションを実現

○コミュニティ（農山漁村）
地域の人々の希望と
活力に満ちた農山漁村を実現

○セキュリティ（安心・安全）
防災対策や食の安全確保など
安心・安全な地域社会を実現

5つの重点戦略

戦略1

令和元年12月策定 スマート&コラボで 農林水産業の夢と未来を創る

- ✓ 中山間地域が多い等の本府の特性を踏まえたカスタマイズで「スマート農林水産業」を実現

戦略2

「林業の再生」と「防災・減災」の両輪で 健全な森林を目指す

- ✓ 新たな森林管理システム等を契機とした総合対策で持続的な林業経営、木材供給の拡大を実現

戦略3

「京都らしさ」を生かしたバリューチェーンで 国内外への展開を加速する

- ✓ 消費者ニーズに即した差別化戦略や京の食文化のフル活用で新たな需要を開拓

戦略4

人づくりの裾野を広げ多様な人材が 育む産業・地域を実現する

- ✓ 法人のインキュベーションや働き方改革、企業参入、集落営農の強化等で担い手を確保

戦略5

地域住民に寄り添い、強みを磨いて 農山漁村(ふるさと)の絆を守る

- ✓ 多様な形で継続的に地域と関わる人々の創出と、仕事・住居等の一体的支援で移住を促進

改定

令和5年3月改定

フードテックと基盤強化で農林水産業の夢と安心を創造する

- ✓ 最先端技術と京都の食文化が融合した「京都ならではのフードテック」で、成長産業化を促進
- ✓ 環境負荷の低減や京都の特長を生かした生産力強化で、持続的な農林水産業を推進

森林を適正に管理し、林業の発展と豊かな森を実現する

- ✓ 森林所有者への啓発や市町村への技術的サポートで、手入れ不足の森林の整備を加速
- ✓ 木材サプライチェーンの再構築と府内産木材の利用促進で、森林資源の循環を促進

オープンイノベーションでブランド価値を進化させる

- ✓ 異業種連携で、中食需要や健康志向に対応した商品開発を促進し、新たなブランド価値を創造
- ✓ 「京もの」の輸出を含む販路の多角化や、「食の京都」PRによる地域食材の消費拡大を推進

人づくりの裾野を広げ、産業・地域を支える多様な人材を育む

- ✓ 人材育成拠点の機能強化や伴走支援体制の充実で、新規就業者の確保や経営の発展を総合支援
- ✓ 半農半Xや定年帰農者、若い世代への情報発信を強化し、担い手の裾野を拡大

人と資源の活用で、持続可能な農山漁村コミュニティを創る

- ✓ 地域活動の最適化や外部人材の活用、移住の総合支援で、活力に満ちた地域づくりを推進
- ✓ 地域の多様な資源を生かしたビジネス展開で、地域に雇用と所得を創出